

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11297

旧中筋家住宅公開事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	旧中筋家住宅公開事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課	435-1194		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。		国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 1, 277人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 904人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。 観覧者数 1, 457人	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。	国指定文化財旧中筋家住宅の維持管理及び運営を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,982	3,818	3,364	3,335	3,071	2,984	3,068	0	3,068	0
伸び率(%)	△20.9%	△21.8%	12.8%	△12.7%	△8.7%	△10.5%	△0.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,638	3,786	4,141	2,071	2,017	2,095	5,198	0	5,198
	正規職員以外	5,867	6,538	7,087	6,241	5,743	5,062	6,067	0	6,067
	小計	11,505	10,324	11,228	8,312	7,760	7,157	11,265	0	11,265
国庫支出金	0	0	0	0	435	432	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	240	74	120	50	120	77	120	0	120	0
一般財源(税等)	2,742	3,744	3,244	3,285	2,516	2,475	2,948	0	2,948	0
所要人数(人)	正規職員	0.70	0.47	0.52	0.26	0.26	0.27	0.67	0.00	0.67
	正規職員以外	2.77	3.12	3.34	3.05	2.82	2.53	2.99	0.00	2.99
主な予算内訳	土地借上料 768千円 管理委託料 706千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数		日	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	98	94	88		
			達成度(%)	108%	96%	97.8%	%	%
自主事業開催数		回	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	14	8	10		
			達成度(%)	140%	80%	100%	%	%
文化財関連施設入館者数(旧中筋家住宅)		人	目標値	2400	2400	1700	1700	1700
			実績値	1277	904	1457		
			達成度(%)	47.5%	34.3%	75.2%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成22年度の公開以来、様々な自主事業を行い、観覧者数の増加を図っている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症が蔓延していたが、令和2年度に比べ影響が少なかった。
見直し・改善内容	より広範囲な広報活動（ホームページ、インターネットの活用を含めて）により周知を図り、一過性でない観覧者数の増加を目指す。また学校関係や地元自治会等との連携を強め、様々な利用方法を探る。